

第2回義務教育学校教育課程検討委員会【議事要旨】

令和2年11月12日 19時
山村開発センター 老人研修室

1. 開会

2. 委員長あいさつ（山田二郎委員長）

3. 協議

（1）目標、めざす児童・生徒像、校訓、努力点等について

○説明…事務局

- ・資料説明。本日の協議の流れの提案。

○全体協議

- ・「心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成」…現行の教育目標に、「ふるさとを愛し」の文言を入れる。
- ・「めざす子ども像」については、込める思いやキーワードなどをグループ協議で出した上で整理する。
- ・「ふるさとを愛する視点」をいかに入れるか協議。
- ・知、徳、体の3本柱に固執してしまってもいけないと思うので、柔軟に協議。

○グループ協議

→A、Bの2グループに分かれて協議。その後共有。

＜※各グループのシートまとめは別紙＞

- ・今後の流れとしては、本日の協議内容を事務局で整理。整理したものを委員に配布。また、他2委員会に協議した内容を共有。第3回の委員会へつなげる。計画では第3回は来年度を予定。

（2）その他…特になし

4. その他

（1）次回委員会

- ・日時：令和3年4月末～5月初めを予定。
- ・内容：区切りや独自教科等について。また、事務局でこれまでの協議内容や、他2委員会の進捗を整理した上で、本委員会で協議が必要と考える事項があれば提案する。

学校教育目標（案）

ふるさとを愛し 心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成

めざす子ども像（案・アイディア等）

【グループA】

○「ふるさとを愛する」について

- ・知、徳、体、全てに関わる。（入る）
- ・子ども達のどういう姿が「それ」なのかについて協議。それがキーワードになる。

○キーワード

- ・確かな学力。学力。基礎。自学。自らの考え。自ら学ぶ力。
- ・自分に自信。他者に関わる。やさしさ。
- ・友。自立。自律。自信。自己肯定。自己実現。評価が受けられる。
- ・知る。出る（出ていく…座学のみではなく）。体験・経験+人とのつながり。

【グループB】

○「徳」に関わることについて

- ・ふるさとキャリア教育（夢の形）。地域の歴史・自然をしっかりと学ぶ。地域の先人・偉人の生涯や生き方を学ぶ。
- ・郷土に誇りをもつ（ふるさとを愛し）。明朗・礼儀正しい（心豊か）。粘り強い（たくましい）。自己肯定感・自尊感情（心豊か）。リテラシー。人を大切にすること。自分を大切にすること。自他尊重。共感。地域をつくる。命の尊重。人間性。つながり。

○「知」に関わることについて

- ・世界を学び開いていくための外国語教育。持続可能な社会を築いていくための環境教育。各種災害を考え対応していけるための防災教育。
- ・自ら目標をもって学習する力を付けてほしい。表現。自然…見直し。確かな学力…学力。表現力、アウトプット力…学力。

○「体」に関わることについて

- ・食と文化を大切にしたい…。健康な町づくりを展開する体力（活動）。健康そのもの。

※各グループでの協議内容（共有した事項）をもとに、めざす子ども像等の具体を事務局より提案する流れ。ふるさとを愛する視点についても検討する。